



株式会社 応用技研

10Sv/hまで測定可能にした放射線測定器 「電離箱式サーベイメータ AE-133BH」

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け開発した、最大10Sv/hまで測定可能な電離箱式サーベイメータです。

①測定上限が弊社従来製品の10倍の10Sv/h(10000mSv/h)まで可能です。②現在多くの報道などで伝えられている実効線量(1cm深部線量当量)だけでなく、等価線量(皮膚線量、目の線量)も本器1台で測定可能です。③瞬時に線量率が測定できるので、作業員の被ばく線量低減に繋がります(弊社のこれまでの測定器のノウハウを踏襲)。④低エネルギーから高エネルギーまで電離箱式のため優れたエネルギー特性を有しており測定値の信頼性が高い測定器です。⑤国際規格IEC-60846(JISZ4333)の測定条件を世界に先駆けて満足した測定器です。

本器は、原子力発電所施設内の放射線量率の分布マップの製作に役立ちます。また、作業員の被ばく低減並びに被ばく線量管理にも活用されます。シミュレーション



からだけでなく、実際に測定して等価線量を評価出来るので、効率よく作業計画作りに利用され、事故の収束並びに事故後の検証に役立つことが期待されます。

今後も本測定器等を量産しつつ、原子力施設内の事故収束に役立つ製品開発を進めて参ります。更には、原子力発電所の外の一般の場所でも、除染作業や一般の人達の放射線被ばくによる健康管理に役立つ製品を随時投入できるよう、多摩地区の優れた加工技術やコンピュータ技術を持った企業と連携しながら国難とも言うべき事態の収束に貢献して参ります。

会社概要

代表取締役	横山 光隆		
本社所在地	〒204-0011 東京都清瀬市下清戸2-599		
業務内容	電離箱式放射線測定器の開発・製造・販売		
資本金	3,000万円	沿革	創業 昭和45年
主な販売・受注先	東京電力(株)、(独)日本原子力研究開発機構、東北電力(株) 他 国公立研究所・病院、全国の原子力発電所等		
従業員数	正社員:7名(パート・アルバイト:3名) 平均年齢:51歳		

連絡先

担当者	営業部 横山 義隆		
URL	http://www.o-yo-giken.co.jp		
E-mail	y-yokoyama@o-yo-giken.co.jp		
TEL	042-492-2734	FAX	042-492-7006